



フランス・スペイン統治時代の影響を色濃く残す街

ニューオーリンズは、今年で誕生 300 周年を迎えました。19 世紀初頭に米国の領土となる前は、フランス・スペインの植民地であり、旧市街の「フレンチクォーター」という地区には、フランス貴族名に由来している通り名やスペイン統治時代の建物が多く残されているなど、その影響を色濃く残していることがわかります。また、ニューオーリンズの代表的な料理の一つであるクレオール料理もフランスとスペインの流れをくんでいます。

©Photo by Kotaro Kashiwai



世界の地域から

ニューオーリンズ (米国)

©Photo by Kotaro Kashiwai



ジャズ発祥の地

ジャズ発祥の地と言われるニューオーリンズ。街を少し歩くとサクソフーンやトランペットの生演奏がカフェやレストランから聞こえてくるだけでなく、時には公園や路上でジャズの演奏パフォーマンスを見かけることもあります。また、ニューオーリンズでは公道でもアルコールを飲むことが許されていることから、ジャズバーが多く存在することで有名なバーボンストリートでは、お酒を片手にジャズバー巡りを楽しむことができます。